

# 親 師 会 報

第 154 号

発 行

新潟県立新津高等学校  
親 師 会

☎0250(22)1920

## 卒業生の皆様へ

親師会長 石 本 岳



卒業生の皆さん、高校ご卒業おめでとうございます。

皆さんは中学、高校時代を新型コロナウイルス感染症の渦の真っ只中で過ごされました。それまで当たり前に行っていたことができなくなり、制限される場面が多かったと思います。行動だけでなく思考にも変化を迫られる、そんな時間を皆さんは多感な時期に過ごされてきたと思います。

しかし、この大きな変化の時代を十代のこの時期に経験したことは、皆さんにとって必ず貴重な財産となるはずで。常に変化し続ける世界に対してどのような姿勢で臨めばよいのか、皆さんの意識の中に、あるいは無意識の中にきっと蓄積されているはずで。変化を恐れずに、自分の内なる声を信じて突き進んでほしいと思います。

また、保護者の皆様におかれましては、この三年間PTA活動にご協力を賜り、本当にありがとうございました。子ども達のより良い学校生活への貢献が難しかった三年間だったかもしれませんが、お子様が大きく成長し門出の日を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

そして三年間温かく、時に厳しく、全力でご指導ご支援いただきました校長先生はじめ、教職員の皆様には心より感謝を申し上げます。卒業しても先生方を頼ってくる場面があるかもしれません。どうぞ今後とも変わらぬ愛情と情熱で進むべき道を照らしていただくことをお願い申し上げます。

卒業後の進路はそれぞれ異なります。さあいよいよ出発の刻です。当たり前のように乙女坂を登った日々を胸に、それぞれが目指すステージへClimb upされることをご祈念申し上げ、私からはなむけの言葉といたします。

ご卒業おめでとうございます。



# 「伝わる言葉」について考える

校長 小林 英明



卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。また、親師会の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、8月24日・25日に、第72回全国高等学校PTA連合会大会

宮城大会が開催されました。記念講演では、「伝わる言葉 ～失敗から学ぶ～」という演題で、仙台育英学園高等学校硬式野球部監督の須江航先生のお話を聞きました。仙台育英は夏の甲子園で昨年度優勝、今年度準優勝のチームです。講演で印象に残っていることを、感想を交えて紹介したいと思います。

須江先生は、選手として仙台育英高校に進学しましたが、2年秋からはグラウンドマネージャーを務めました。野球の上手さでいったら今の選手のほうが上。自分には技術を見せて指導するということができないので、言葉で指導することを大切にしています。座右の銘・信念は、「賛同の多いことは時代遅れ」ということです。「それは素晴らしいです」「良いですね」と言われることは、ちょっと古いなという感覚がないと、どんどん遅れていってしまいます。挑戦して行動する姿を生徒に見せたいと思っています。そして、自分の人生の歩みから、「人生は敗者復活戦」だということ。ほとんど負け続け、何かの競争に敗れ続けて、敗れた先に何かが始まっています。最大の成果を出すときは、その前に必ず失敗しています。私はお話を聞いていて、成果を出すには、挑戦すること、行動すること、失敗経験を次につなげることが大切なのだ、改めて感じました。

本題に入り、最初は「育成」についてお話しされました。「情熱」「粘り強さ」「素直さ」「多様性」「肯定的」の5つが鍵を握るということです。「情熱」は、困難なことがあっても、それを乗り越えられると信じて、知恵と工夫を重ねて取り組むことです。「粘り強さ」は、瞬発力ではなく持久力で、成否が見えるまでやりきる力であり、軌道修正しながら取り組むことも大切です。しかし、現在の高校生は、情報量が多すぎて、今やっていることの成果が見えないうちに他の情報に飛びついてしまうので、ある程度根気強くやってみることが大切です。「素直さ」は、従順ということではなく柔軟性があるということで、違う意見や違う価値観を面白いと思えることです。「多様性」は、ちょっと嫌だな、価値観が合わないなと思っても、存在を容認していくことです。「肯定的」というのは、無理、できないでしょとならないで、前向きな思考のほうが、人生が開けてくるということです。私は、5つのキーワードはいずれも大切なものだと思います。工夫・改善をしながら粘り強く取り組む子どもたちを育てたいものです。

次は「組織力と目標」についてお話しされました。大切なのは、挫折との向き合い方ということです。う

まくチーム運営ができなかったり、個人の成績が上がってこなかったりすると、45度も90度も取組を変えなくてはいけないと思いがちですが、1度変えればいいんだよという話をしているそうです。低いけどしっかりした目標設定をしたほうがいいし、我々は何に向かって走るのか、具体的に示してあげることが大切です。「いいから走れ」は通用しないということです。私はお話を聞いていて、実現可能な半歩先の目標を達成する積み重ねが、人の育成にも組織作りにも重要なんだなと思いました。

次は「個人の成長と自己理解」についてお話しされました。短所と長所の関係性についてです。短所に丁寧に対処することができないと、長所を飲み込んでしまうということです。私は、世の中では最近、長所を伸ばすほうを重視する風潮を感じていたの、考えさせられるところがありました。須江先生は、丁寧に対処することが自己理解と捉えておられました。

次は「組織力の言葉」についてお話しされました。「伝わる言葉」は一つしかない。「相手が聞きたいことしか伝わらない」ということです。だから、自分が伝えたいと思ったら、相手が何を考えているのか聞くしかない、聞くことがほぼ全てです。求めているものしか伝わらないので、何を求めているのか知るしかないそうです。今の子どもは「選択ネイティブ（選ぶことがネイティブ）」であり、非認知能力を高めることが重要、主体性が必要ということです。私は、「人は欲しいものしか求めない」ということにいろいろ考えさせられます。親も教師も、伝えたいことの押し売りはよくないのかもしれない。

最後にまとめとして、「組織と個人をつなぐ」ということをお話しされました。部活動の本当の意味や目的は、学校の授業や学級運営も同じだと思いますが、将来何か悩んだり迷ったりしたときに、思考が帰ってくる場所を提供したいということです。あの時、こういうふうに関心をロジカルに組み立てて、一つ一つクリアしてきたなというような、思考の帰ってくる場所を提供したいという考えのもとに活動しているそうです。組織や個人を伸ばすためには、「与えること」「失敗すること（させること）」「挑戦すること」が大切ということです。成功はアートみたいなもので再現性がないので、失敗から学ぶ他はないのです。そして、自己肯定感を下げないように、怒ったり叱ったりするのではなく、丁寧に説明して伝えているとおっしゃっていました。（最初じゃなくて）最後は、気合と根性とガッツですと締めくくっておられました。保護者や教員にとっても、自分自身が失敗したり挑戦したりすることや、他者の話に耳を傾けることの大切さを学ぶよい機会になったと思います。

結びになりますが、卒業生の皆さんの新しいステージでの活躍と、在校生の皆さんの新年度の飛躍を祈念しています。保護者の皆様には、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 進路指導室より

進路指導部 石澤佳代

### 「Climb Up プラン」

～総合的な探究の時間の取組み～

新津高校では「Climb Up プラン」と称して総合的な探究の時間に取り組んでいます。答えのない問いに立ち向かう姿勢や自分だけが「語れるもの」をつくることを目的としています。

1年生は「社会を繋ぐ」をテーマに、秋葉区の課題解決学習を行っています。秋葉区が取り組んでいる「秋葉区区ビジョンまちづくり計画」に沿って自分たちで課題を見つけ、情報を収集し解決方法を模索しました。この活動では、秋葉区役所をはじめ、商工会議所や各施設等、多くの地域の方々からご協力いただきました。この活動をとおして探究の「型」を身に付け、社会的視点を持つことができました。

2年生は「学問を拓く」をテーマに、8つの学問系統から関心のある専攻を選び、学問的な視点から課題を見つけ研究を行ってきました。課題を設定する段階から定期的に新潟薬科大学の先生方にアドバイスをいただきながら、1年生の時に身に付けた探究の「型」を実践しました。

1, 2年生ともにクラスを解体し、各自が選んだテーマによって3, 4名の班で活動したので、クラスを越えた交流の場にもなっています。



※2月8日に行われた2年生ポスター発表の様子です。

また、11月には1, 2年生混合の班をつくり、中間発表会を実施しました。互いの発表を聴き合い質疑応答をした後、2年生が1年生にアドバイスをする時間を設けました。自分たちの経験の中で上手くいったことや失敗したことを踏まえアドバイスする姿には、「先輩」の頼もしさが見られました。

3年生は「未来を創る」をテーマに、個人研究に取り組んで来ました。自分の進路に直結する課題を設定し、先行研究論文を読み研究を深め、個人で論文を書き上げました。論文集としてまとめ3年生全員に配布しますので、ご家庭でもぜひご覧ください。また、取り組んできた研究について入学試験の面接や志望理由書の中で触れている生徒もおり、「語れるもの」になっていることがうかがえます。

1, 2年生は、それぞれのまとめのポスター発表を、2月8日(2年生)、2月22日(1年生)におこないました。新潟薬科大学の先生、秋葉区役所、自治協議会、学校評議員の皆様からお越しいただきました。

その中から選ばれた代表班が、3月12日午前に秋葉区文化会館で発表を行う予定です。その発表の様子は、当日ウェブ配信いたします。下記QRコードから入ることができますので、多くの皆様にご観覧いただければ幸いです。





# 進路指導室より

進路指導部  
石澤 佳代

## 令和6年度大学入学共通テストについて

### ① 受験の概要

第4回目となる大学入学共通テストが、1月13日・14日の両日に全国で実施されました。志願者数は少子化の影響で、昨年から20,667人減少し、491,914人（前年比96%）でした。内訳は現役生が419,534人（前年436,873人）で、既卒生が68,220人（前年71,642人）といずれも減少しています。

新津高校3年生は234名中218名が、新潟薬科大学で共通テストを受けました。今年も、積雪による交通機関の遅延などが心配されましたが、天候に恵まれ受験しやすい環境であったと思います。

### ② 平均点および自己採点状況

1月17日に大学入試センターから発表された全国科目別平均点（中間集計）は表のようになりました。主要教科では「英語（リスニング）」「国語」で平均点がアップした一方、「英語（リーディング）」「数学Ⅰ・A」「数学Ⅱ・B」ではダウンしました。「英語（リーディング）」は長文問題の単語数が大きく増加したことや、難しい設問が含まれていたことなどから、得点率が上がらなかったようです。「数学Ⅱ・B」では、計算量が減ったものの、論理的な思考力が試される設問が多く、数学が苦手な受験生にとっては解きにくかったようです。なお、今年度は、得点調整は行われなかったことが発表されました。

### ③ 学びの姿勢

令和7年度より学習指導要領の変更にもとない、新教科として「情報」が導入されます。また、国語、数学、地理歴史・公民に関しては、解答時間の変更や科目の変更が行われます。国語に関しては、大問数の追加（大問4から大問5への変更）、試験時間の10分増加が公表されています。本文の構成や展開を的確に捉えて、論旨や内容を正確に読み取る力や、複数のテキストの関連性を捉える力が求められます。また、漢字や重要語、古典文法など、基礎的な知識を問う設問も引き続き出題されると考えられます。日々の学習を通して、ひとつひとつの知識事項を習得していく必要があります。

表 令和6年度大学入学共通テストの平均点

教科	科目	中間発表	新津高校	
			平均	受験人数
国語	国語	115.73	108.4	215
地歴	日本史B	58.03	46.4	107
	地理B	68.38	54.9	88
公民	政治経済	46.02	42.2	112
	倫理/政経	62.02	62.0	4
数学	数学ⅠA	54.35	34.0	209
	数学ⅡB	61.03	35.6	208
理科	化学基礎	28.91	20.8	120
	生物基礎	32.71	26.8	120
	物理	64.38	46.4	56
	化学	56.86	38.8	81
	生物	55.72	48.1	32
英語	リーディング	53.28	41.8	216
	リスニング	68.50	60.8	215

国語は200点満点、化学基礎・生物基礎は50点満点、それ以外は100点満点

あります。

数学に関しては、数学①は変わりませんが、数学②の出題範囲が、数学Ⅱ、数学Bおよび数学Cとなり、選択解答する科目数が2から3に増加し時間が10分増加します。問題に関しては、長い問題文の中から解くうえで必要な情報や、設問のヒントとなる部分などがどこか判断しながら解き進めていく必要があり、限られた時間の中で問題文から必要な情報を素早く、正確に抜き出す力が求められます。一方、教科書レベルの基本的な問題も出題されます。確実に得点を重ねられるよう、各分野の定理・公式の定着を確認するような問題演習などを重ねていく必要があります。

英語に関しては、リスニングでは、音声情報と図表などの視覚情報を整理・判断したりする力、ライティングでは、複数の英文と図表の内容を組み合わせることで、複数の英文と図表の内容を組み合わせて考えるといった情報処理力や、文章の論理的展開を把握する力が求められます。重要な情報を聞き逃さず、メモを活用して短時間で情報を整理する練習や、多種多様な英文素材を短時間で読解する練習を積み重ねる必要があります。

情報に関しては、「情報Ⅰ」という科目で試験時間は60分となります。授業の内容をしっかりと復習し、さらに模擬試験や補習、スタディサプリなどを活用し力をつけいく必要があります。

いずれの科目も普段の授業や、朝学習、平日講習、長期休業中の講習を受け身の姿勢でなく自分で考え学ぶことを意識するように心がけてほしいと思っています。

## 編集後記

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また保護者の皆様、3年間親師会の活動にご協力ご理解を賜り、誠にありがとうございました。3年生の皆さんの活躍ぶりは、新津高校の歴史にしっかりと刻まれました。皆さんが新津高校生としての誇りを胸に、今後新たな舞台でさらに飛躍されることを祈念しています。今年度最後の親師会報となりました。原稿や写真をお寄せくださった皆様、お忙しい中ありがとうございました。来年度もどうぞ宜しくお願いいたします。